

第2次北秋田市総合計画とは

1 趣旨

少子高齢化の進展による人口の減少が加速的に進み、それに伴う経済規模の縮小や地域活力の低下による地域経済への影響が避けられない中、地方公共団体の果たす役割への期待と市民との協働に対する重要性が増すとともに、行財政運営の再構築が求められております。

また、平成18年に策定された北秋田市総合計画が平成27年度に最終年度を迎えることから、将来予測に基づき、今後目指すべき市の将来像を描き、その達成のために取り組む施策の体系と執行体制を明確にするため、北秋田市の最上位の計画として、第2次北秋田市総合計画（以下「第2次総合計画」）を策定いたします。

2 第2次総合計画の構成

(1) 基本構想

市政運営の根幹をなすもので、今後10年間(平成28年度から平成37年度)の基本理念、将来都市像、将来人口など目標指標及び市の将来都市像の実現に向けた施策の大綱を記載したもの

(2) 基本計画

「基本構想」を具現化し、市が目指す将来像の実現のために必要な施策や課題、基本的な方向を体系的に整理し、計画期間内の政策のプログラムを示すもの
基本計画は、前期と後期からなり、前期は平成28年度から32年度までの5年間とし、後期は平成33年度から平成37年度までの5年間となる。
今回策定するのは前期計画である。

3 第2次総合計画の進行管理

基本構想において人口目標を掲げるだけでなく、各施策に成果指標を掲げ、外部評価による進行管理を行うことで、評価の客観性と透明性を高め、市民視点での評価結果を行財政運営に活かしてまいります。

第2次北秋田市総合計画(素案)は、7月15日に市長から有識者で組織する「第2次北秋田市総合計画策定審議会」に諮問され、現在議論が行われております。

基本構想

1 基本理念

- 健康で しごとにはげむ 活力のあるまちづくり
- お互いが 尊敬し支えあう 明るいまちづくり
- 命のたいせつさを学び 文化をはぐくむ 豊かなまちづくり
- 自然を愛し 環境をととのえる 美しいまちづくり
- みんなで 力をあわせる 住みよいまちづくり

2 将来都市像(目指すまちの姿)

住民が主役の”もり”のまち

～森吉山などの自然を活かし、ぬくもりや見まもりで地域をもり上げる～

北秋田市は、『森』吉山をはじめとする自然資源の豊富さ(県内一の『森』林面積)があり、市内全域が積雪寒冷地域および豪雪地帯に指定されるほど、雪が積『もる』市でもあります。平成26年2月に実施した市民意識調査においても、北秋田市の良さとして残したいところ(良いところ、好きなところ、愛着がもてる場所)として、「自然」「森吉山」という意見が数多く寄せられています。

このような市の特性・特徴を踏まえて、森吉山や雪等の自然資源を最大限に活かしながら、今後最重要課題として考えられる人口減少抑制に向けて、住民を主役に、住民相互のぬく『もり』や見ま『もり』を大事にし、地域全体を『もり』上げることを目指します。

3 施策の大綱

健康・産業分野

基本理念1
「健康でしごとにはげむ 活力のあるまちづくり」

- 地域医療の充実
- 健康づくりの推進
- 農業・畜産業の振興
- 林業の振興
- 商業の振興
- 観光・レクリエーションの振興
- 工業の振興

福祉分野

基本理念2
「お互いが尊敬し支えあう 明るいまちづくり」

- 地域コミュニティの推進・地域自治の体制確立
- 地域福祉の充実
- 高齢者福祉の充実
- 障がい者福祉の充実

子育て・教育分野

基本理念3
「命のたいせつさを学び 文化をはぐくむ 豊かなまちづくり」

- 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
- 学校教育の充実
- 生涯学習の充実
- 芸術・文化の継承と振興
- スポーツの振興

環境・都市基盤分野

基本理念4
「自然を愛し 環境をととのえる 美しいまちづくり」

- ごみの減量化と適正な処理
- 地球温暖化対策の推進
- 道路網の充実
- 住環境の整備
- 雪対策の充実
- 下水道等の整備
- 上水道・簡易水道の整備
- 公共交通の維持・確保

市民生活・行財政分野

基本理念5
「みんなで 力をあわせる 住みよいまちづくり」

- 地域防災体制の充実
- 消防・救急体制の充実
- 交通安全の推進・防犯体制の強化
- 消費者トラブル
- 男女共同参画社会の実現
- 移住定住の促進
- 行財政改革の推進

～北秋田市民憲章～

<前文>
(略)

<主文>

健康で しごとにはげみ 活力のあるまちをつくります
お互いが 尊敬し支えあい 明るいまちをつくります
命のたいせつさを学び 文化をはぐくみ 豊かなまちをつくります
自然を愛し 環境をととのえ 美しいまちをつくります
みんなで 力をあわせ 住みよいまちをつくります